

タケシールNo. 400プライマー

防水材用下塗り材

特徴

- 1液速乾性のため、取り扱いと作業性に優れています。
- モルタル・コンクリート・スレートなど、無機質の素材への浸透性に優れ、内部深く浸透することで下地表層部の強度を内部から改善し、外気や水分の侵入を防ぎます。
- ウレタン樹脂の採用により、高い接着強度と耐水性を確保しています。

用途

- モルタル・コンクリート面への下塗り
- 既存ウレタン防水材への塗り重ね下塗り
- 既存FRP防水材への保護塗料(ウレタン系・水性系保護塗料)塗り重ね下塗り

※既存下地がウレタン系塗床材・エポキシ系塗床材・金属下地の場合や、施工面積が大きく次の工程に至るまでに12時間以上の間隔があく場合には、溶剤系タケシールE-500プライマー又は、水系タケシールAE211プライマーをご使用ください。

※FRP防水層へ塗布する場合は、60～80番程度のペーパーにて表面に残るワックス成分を研磨除去後、アセトンで拭き取り処理を行ってください。

荷姿

15kg・7kg・3.5kg・1.5kg

標準塗布量

下地	塗布量	塗布回数
モルタル・コンクリート	0.5kg/m ²	2回に分けて塗布
ウレタン防水材	0.1kg/m ²	1回
FRP防水材(改修)	0.1kg/m ²	1回

施工

- ①清掃、洗浄を行い、埃、ゴミ、土、油分を除去します。洗浄後は十分な乾燥養生を行います。
- ②タケシールNo. 400プライマーをローラー、刷毛等にて規定量を溜まりができないように注意しながら希釈せず塗布します。

- モルタル・コンクリートの場合：1回目 0.2～0.3kg/m²塗布

塗装間隔：2～3時間以上、12時間以内(気温20℃)

2回目 0.2kg/m²塗布

塗装間隔：3～4時間以上、12時間以内(気温20℃)

歩行可能確認の上、防水材又は保護材を塗布します。

- ウレタン防水・FRP防水への塗布の場合：0.1kg/m²塗布

塗装間隔：3～4時間以上、12時間以内(気温20℃)

歩行可能確認の上、防水材又は保護材を塗布します。

※仕上りの目安は、艶のある濡れ色となるように塗布してください。下地への吸い込みが激しい場合は、硬化確認の上、再度タケシールNo. 400プライマーを塗布してください。

※次の工程までに12時間以上経過した場合や、降雨・夜露で濡れた場合は、ペーパー等で目荒し後シンナーで表面を拭き取り、再度タケシールNo. 400プライマーを塗布してください。

※下地によっては吸い込みが激しく再度プライマーを塗布しても適切な状態に仕上がらない場合があります。その場合は、プライマー液に同量の普通セメント(ポルトランドセメント)を混合、十分な攪拌後、下地に刷り込むように塗布してください。

また、施工前から下地の状態が悪いことが確認されている場合は、プライマーを塗布する前に当社下地調整材(タケモルカチオンEV+タケモルフィラーA-1又はA-2)にて補修を行ってください。

※新設モルタル・コンクリートの場合、塗布量及び塗布回数が少なくなります。上記記載塗布量は、改修下地としてとなります。

※施工中、施工後5時間以内に降雨・雪が予測される場合や、気温が5℃以下湿度85%以上となる場合は、施工を避けてください。

※詳細な安全データが必要な場合は、安全データシート(SDS)を参照してください。

性状

外観	褐色透明液体
不揮発分(%)	40±2
粘度(mPa・s/25℃)	50以下
比重(20℃)	0.99
引火点	24℃
乾燥時間(室内にて粘着が消滅に至るまでの時間)	120分/25℃

密着強度 15kg以上/cm²(下地モルタル面) ウレタン防水(タケシール#101防水) 基材破壊：室温7日養生後

有機溶剤中毒予防規則：第2種有機溶剤

指針番号	国連番号
128	1868

品質保持期限 出荷後6か月

改訂 202006-U

製造元

お問い合わせ：

品竹林化学工業株式会社

〒577-0836

大阪府東大阪市渋川町3丁目1-43

TEL 06-6721-6165(代)

ホームページ：https://www.takebayashi-ci.com/

Eメール：info@takebayashi-ci.com